



# 学校便り

平成 22 年 7 月 1 日  
広島市立広瀬小学校  
校長 中 田 浩 志

## 縦割り班であいさつ運動に取り組んでいます

午前 8 時、正門付近から、「おはようございます。」の元気な声が、学校にひびきます。今年もあいさつ運動が始まりました。

あいさつ運動は、「自然に気持ちのよいあいさつができる子どもにしよう」というねらいで 6 月、10 月、2 月の年 3 期間取り組んでいます。本校では、あいさつ運動を縦割り班で取り組んでいます。縦割り班であいさつ運動をすることで、二つのメリットがあります。まず、同じ活動を一緒にすることで縦割り班の中の交流が図られることです。二つ目は、あいさつ運動で声をかけられる子どもたちは、知っている友達から声をかけてもらうことができることです。

このあいさつ運動で、朝からさわやかにスタートできる子どもたちが増えてほしいと願っています。



## 読み聞かせが始まりました



今年度も図書ボランティアの方による読み聞かせが始まりました。今年は 1 年から 4 年までの児童に月 2 回、月曜日の朝読書の時間にやっていただいています。

6 月は 7 日(月)と 14 日(月)に来ていただきました。「ねえ、どれがいい?」(ジョン・バーミンガム)「おつかい」(さとうわきこ)「八郎」(斉藤隆介)など、いろいろな本を読んでもらっています。

この読み聞かせは八年目を迎えます。今年は八名のボランティアの方に来ていただいています。子ども達はとても楽しみにしており、どの学年も静かに聞いています。

## 2 年生が犯罪防止教室を受けました

21 日、広島中央警察署生活安全課の少年育成官と少年補導協助員のみなさまで、2 年生対象の犯罪防止教室を開いてくださいました。まず、生活安全課と少年補導協助員の方による寸劇をみました。公園等にいる子どもに言葉たくみに近づいてくる不審者に、どのように対処したらいいのか勉強しました。また、「いかのおすし」・ついていかない・車にのらない・おおごえを出す・すぐ逃げる・しらせるのお話も子どもたちには、とても分かりやすかったです。「どのようにすれば、被害に合わなくてすむだろうか」を一人一人が考えました。とても有意義な会になったと思います。ありがとうございました。



## 学校協力者会議について

17日午後3時より第1回目の学校協力者会議を開きました。

学校協力者会議は、学校・家庭・地域が連携・協力しながら子どもの健やかな成長を図るため、学校教育活動全般にわたって委員のみなさまからご意見やご提言をお聞きし、校長の学校経営を支援していただくための会議です。今年度も下記の13名のみなさまに委員をお願いしています。どうぞよろしくお願いいたします。(敬称略)

中野二郎(元高等学校校長)	藤井孝行(三篠公民館長)
栗田昊(元本校校長)	吉森 巖(広瀬地区社会福祉協議会会長)
岡本和三(中広地区民生委員)	永井英慈(P T A 会長)
楠原雄治(P T A 副会長)	延河幸二(広瀬学区子ども会育成協議会会長)
部谷清治(広瀬地区社会福祉協議会 福祉推進委員)	
田中勝由(広瀬学区体育協会会長)	阪本晋司(中広地区百年会会長)
植田由佳(広瀬地区主任児童委員)	石崎 恵里子(中広地区主任児童委員)

### 第1回 学校協力者会議報告(平成22年 6月17日 15:00~16:15)

参加者(会議委員12名 教職員12名)

自己紹介(教職員・委員)

1.開会のあいさつ(吉森委員長)

2.じゃんぐるぼけっと・ひろせ開設について

3.学校の状況について(学校経営計画より)

(1) 学校長より

今年度の学校経営計画について

(2) 教務主任・生活部長・保健主事より

中期経営目標 各部の担当短期経営目標 各部の担当重点目標

(3) 委員の方からのご意見・ご質問

学校だよりについて

英語教育について

学校教育のICT化について(50インチデジタルテレビ・電子黒板等)

中期経営目標について

運動会について

学校と家庭の連携について

4.閉会のあいさつ(中野副委員長)